

## アラブ首長国連邦・アルクドラ社とのレコサール事業化共同検討に関する覚書締結について

当社(社長:西尾 進路)は本日、アラブ首長国連邦(以下UAE)のアルクドラ社※1とUAEにおけるレコサール※2事業化共同検討に関する覚書を締結しましたので、お知らせいたします。

レコサールは、製油所の副産物である硫黄を有効活用する技術として、当社が開発した環境に優しいリサイクル製品であり、高強度で遮水性に優れ、耐酸性が高い特長があります。現在、国内では下水道施設、河川の大型水路、温泉施設など幅広い分野で建築・土木資材として使用されています。当社は2002年12月より、新日本石油精製株式会社室蘭製油所に隣接する敷地に、生産能力4トン/日のレコサールプラントを建設、2004年8月には、プラントの生産能力を75トン/日に拡大してまいりました。また2006年末よりUAE国内では最高峰の学術機関であるUAE大学との共同研究を行っております。

UAEでは日本からの技術協力等を通じて、硫黄の有効利用に関するニーズが高いことが判明しており、またアルクドラ社も硫黄を使用した当社の新材料レコサールに高い関心を示しております。当社では、都市・不動産開発を主に行うアルクドラ社の事業内容から、UAEでのレコサールの事業化検討・事業展開を今後行うにあたり、最適なパートナーであると判断し、同社と共同で、レコサールの製造・販売に関する事業化検討を行うこととなりました。

今後、両社では、本契約の締結を機に、環境に優しいリサイクル製品であるレコサールの幅広い普及に向けて更なる検討を行ってまいります。

※1:アルクドラ社は、都市・不動産開発を核とした複合企業体。傘下に建設・資材関係会社を保有。

※2:レコサールとは、130～150℃の硫黄に添加剤を加えて製造した改質硫黄に、貝殻、スラグ、砂等の骨材や石炭灰等の微粉末を混ぜ合わせ、型枠に流し込んでから徐冷して固めたコンクリート状のものです。なお、レコサールの高効率製造システムは財団法人石油産業活性化センター事業として開発したものです。

### 記

#### 1.締結日(場所):

2007年12月17日(於:三田共用会議所(東京都港区))

#### 2.調印者:

当社 副社長 佐谷 信

アルクドラ社 会長 サラーハ・サーレム・ビン・オメイア・アル・シャムシ

#### 3.覚書概要:

##### (1)目的

UAE国内でのレコサール製造・販売事業の採算性を検討するため、市場調査を行い、事業化検討を実施する。

##### (2)役割分担

当社:レコサール技術、経済性の検討

アルクドラ社:UAE国内でのレコサール製造・販売事業の採算性を検討するための市場性調査実施

以上

### ● 別添資料

 [レコサールについて\(376.0KB\)](#)